

平成9年度クロノリ養殖概要

萩平 将

平成9年度の特徴は、育苗期にメソディニウムの赤潮が発生したため栄養塩が激少し、これまで前例のない色落ちが発生した。しかし、色落ちの状態でも冷凍在庫した網も、本養殖では生産が大きな問題には至らなかった。秋芽第1回芽の摘採直前に強風が吹き、葉体が流出したためP、多くの生産者が第1回目の入札に出荷出来ず大きな被害となった。平年は2月中旬以降は栄養塩が低下し製品の色が悪化するが、本年は適量の雨があったため色の悪化はなく、秋の葉田流出以降の生産は順調だった。

(1) 経営体数、従事者数及び養殖施設数（表1、図1～3）

(2) 平成9年度漁場環境状況（図4～9）

水温、塩分の平年値は過去10年間の平均値

降水量、日照時間は徳島地方気象台のデータを用いた。

(3) 平成9年度漁期の共販結果（図10～11）

表1 平成9年度のノリ養殖漁業経営体数、養殖施設数等

漁協数	経営体数			従事者数	養殖施設数		
	個人	共同	合計		浮流し	支柱	合計
11	94	4	98	350	30,352	1,098	31,450

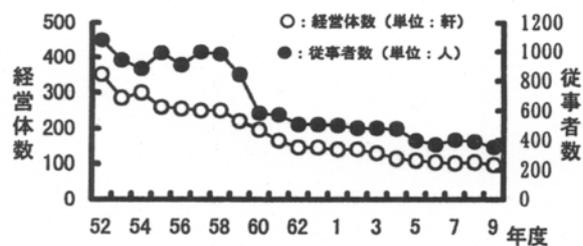


図1 経営体数、従事者数の推移

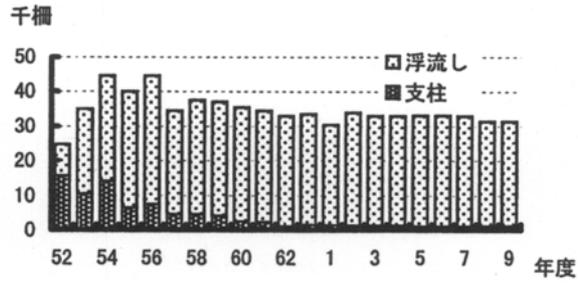


図2 養殖施設数の推移

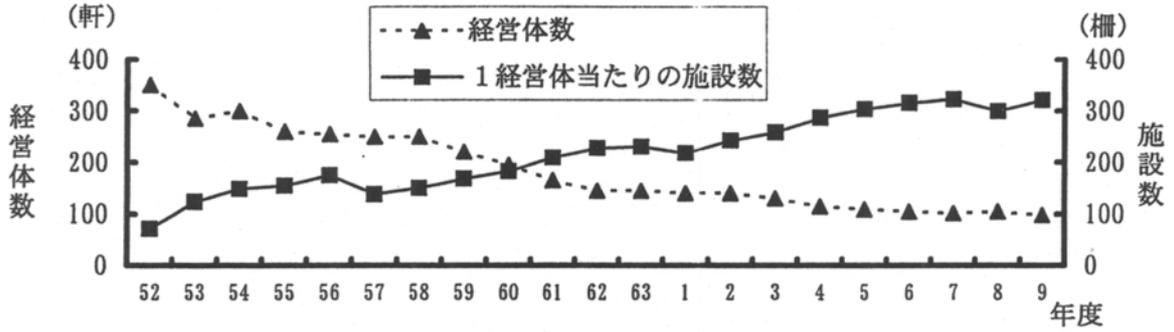


図3 1経営体当りの養殖施設数

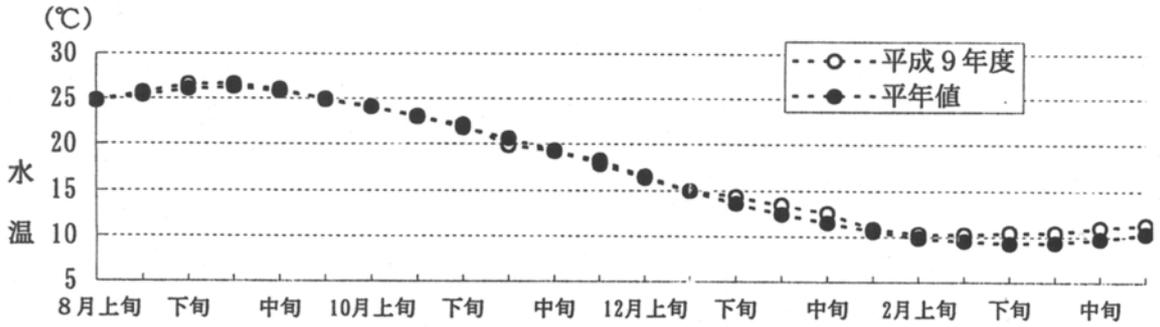


図4 平成9年度水温 (鳴門分乗場汲み上げ海水)

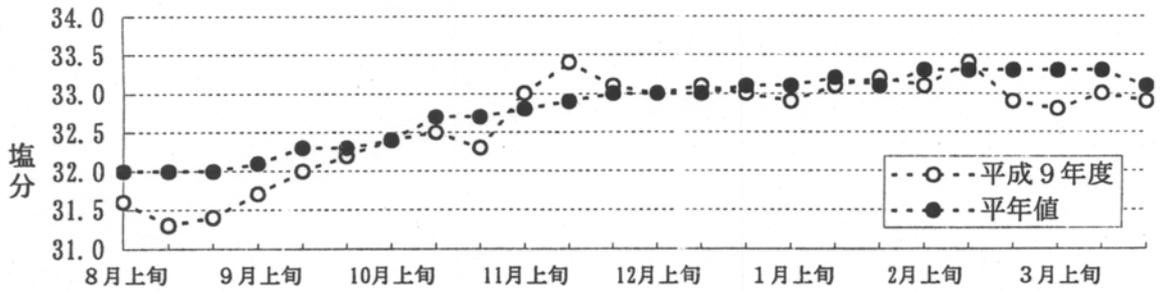


図5 平成9年度塩分 (鳴門分乗場汲み上げ海水)

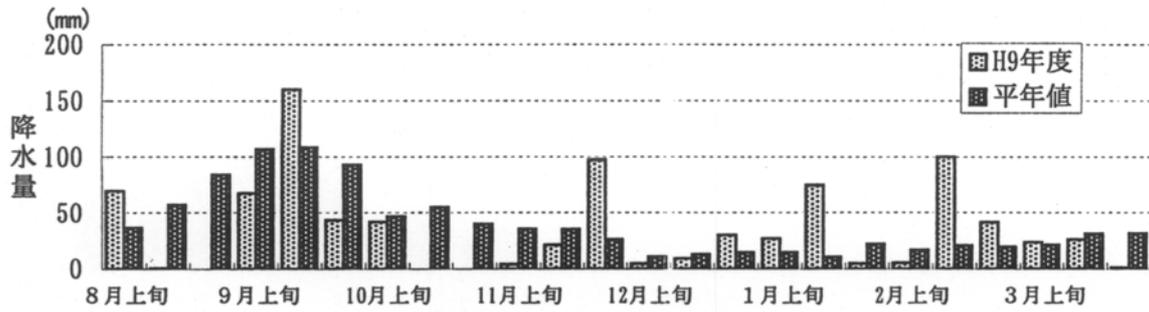


図6 平成9年度漁期の降水量（徳島市）

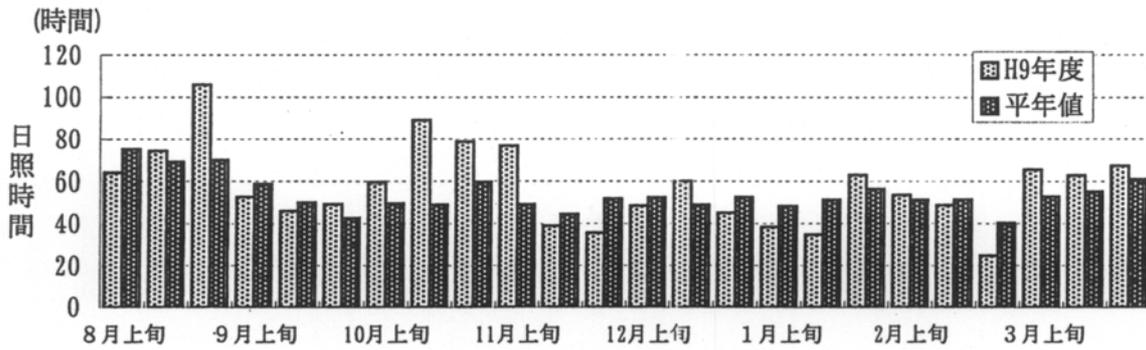


図7 平成9年度漁期の日照時間（徳島市）

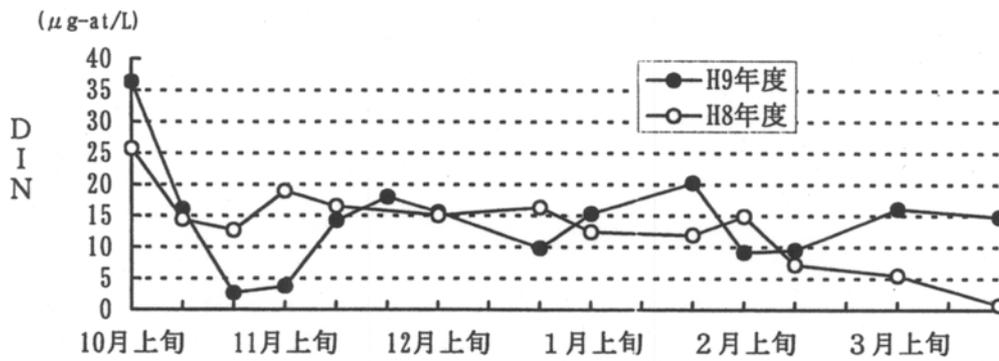


図8 各漁場のDIN（吉野川河口周辺）

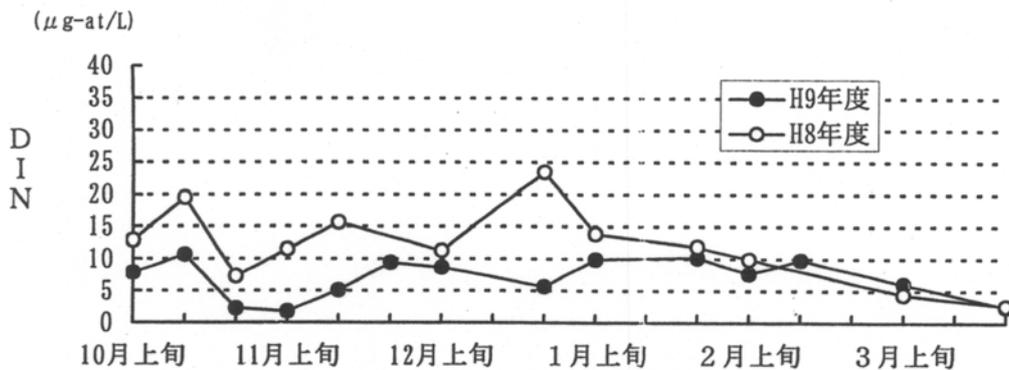


図9 各漁場のDIN（県中央漁場）

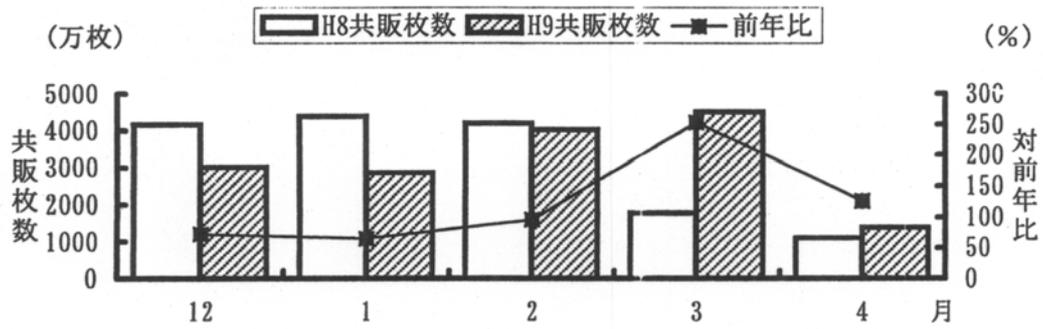


図 10 月別共販枚数

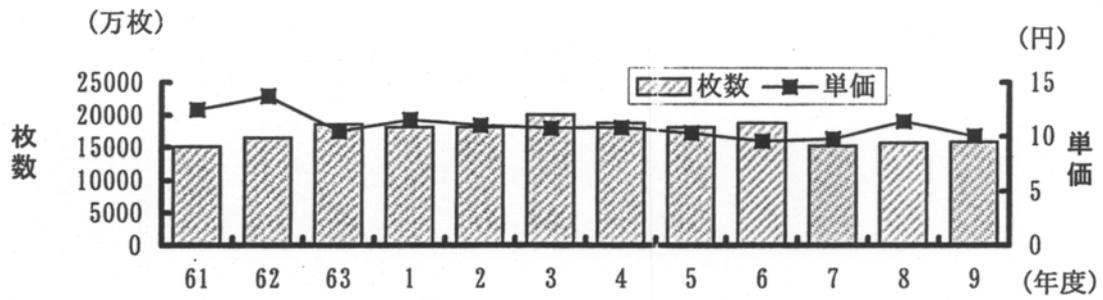


図 11 年度別共販結果の推移